

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月16日

宇都宮市長 佐藤 栄一 殿

提出者

住所 栃木県宇都宮市清原工業団地18番4

氏名 栃木住友電工株式会社

代表取締役 宮本 義之

電話番号 028-667-6313

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	栃木住友電工株式会社
事業場の所在地	宇都宮市清原工業団地18番4
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	金属製品製造業
② 事業の規模	売上高114.0億円/年
③ 従業員数	300名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(工場別廃棄物フロー図) 1-①・②・③の通り

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2-①・②(産業廃棄物処理社内組織図及び業務)の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙4-①のとおり
	排出量	別紙4-①のとおり
	(これまでに実施した取組) 別紙5-①のとおり	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙4-①のとおり
	排出量	別紙4-①のとおり
	(今後実施する予定の取組) 別紙5-①のとおり	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙5-①のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙5-①のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙4-①のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙4-①のとおり
	(これまでに実施した取組) 別紙5-①のとおり	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙4-①のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙4-①のとおり
	(今後実施する予定の取組) 別紙5-①のとおり	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙4-①のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙4-①のとおり
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙4-①のとおり
	(これまでに実施した取組) 別紙5-①のとおり	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙4-①のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙4-①のとおり
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙4-①のとおり
	(今後実施する予定の取組) 別紙5-①のとおり	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙4-①のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙4-①のとおり
	(これまでに実施した取組) 別紙5-①のとおり	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙4-①のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙4-①のとおり
	(今後実施する予定の取組) 別紙5-①のとおり	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙4-①のとおり
	全処理委託量	別紙4-①のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙4-①のとおり
	再生利用業者への処理委託量	別紙4-①のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙4-①のとおり
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙4-①のとおり
	(これまでに実施した取組) 別紙5-①のとおり	

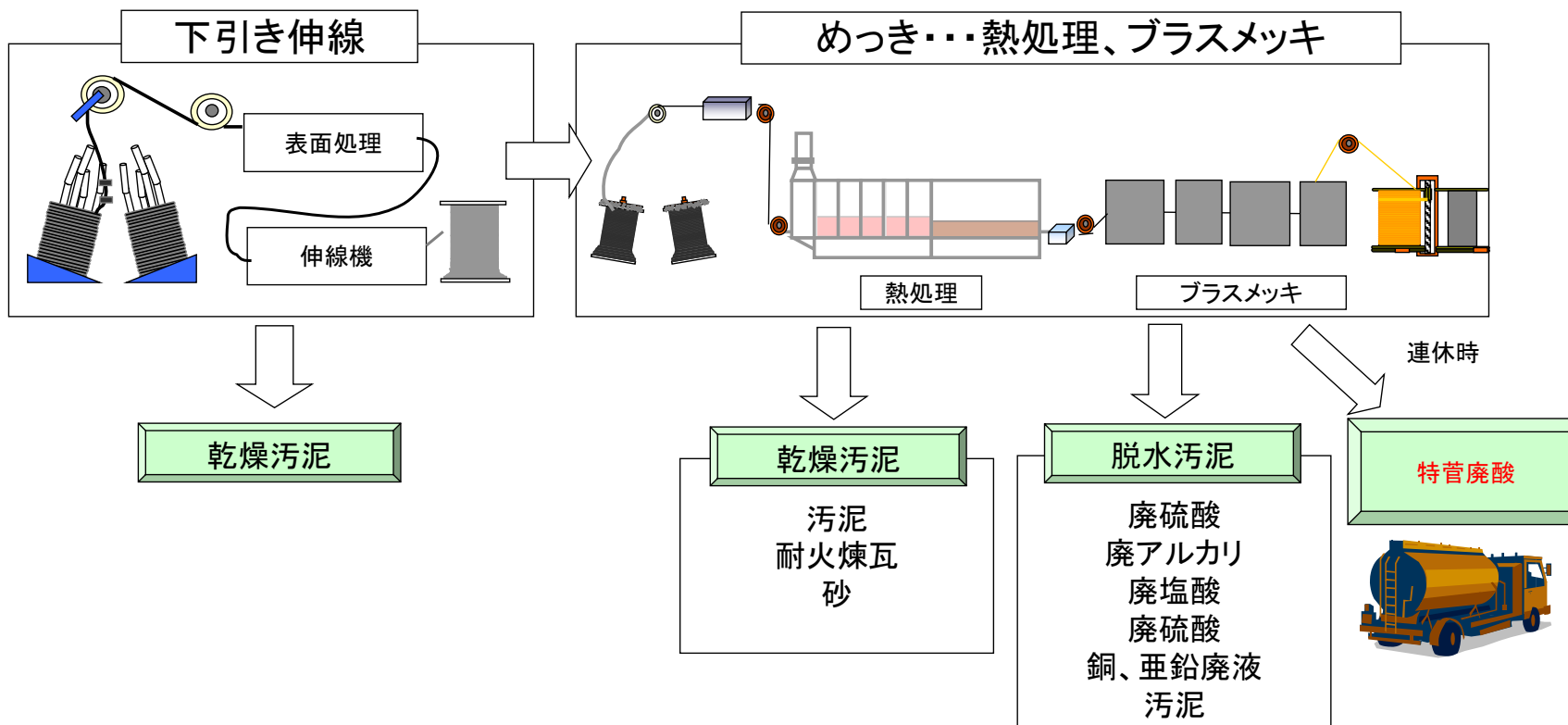
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙4-①のとおり
	全処理委託量	別紙4-①のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙4-①のとおり
	再生利用業者への処理委託量	別紙4-①のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙4-①のとおり
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙4-①のとおり
	(今後実施する予定の取組)	別紙5-①のとおり
※事務処理欄		

(第6面)

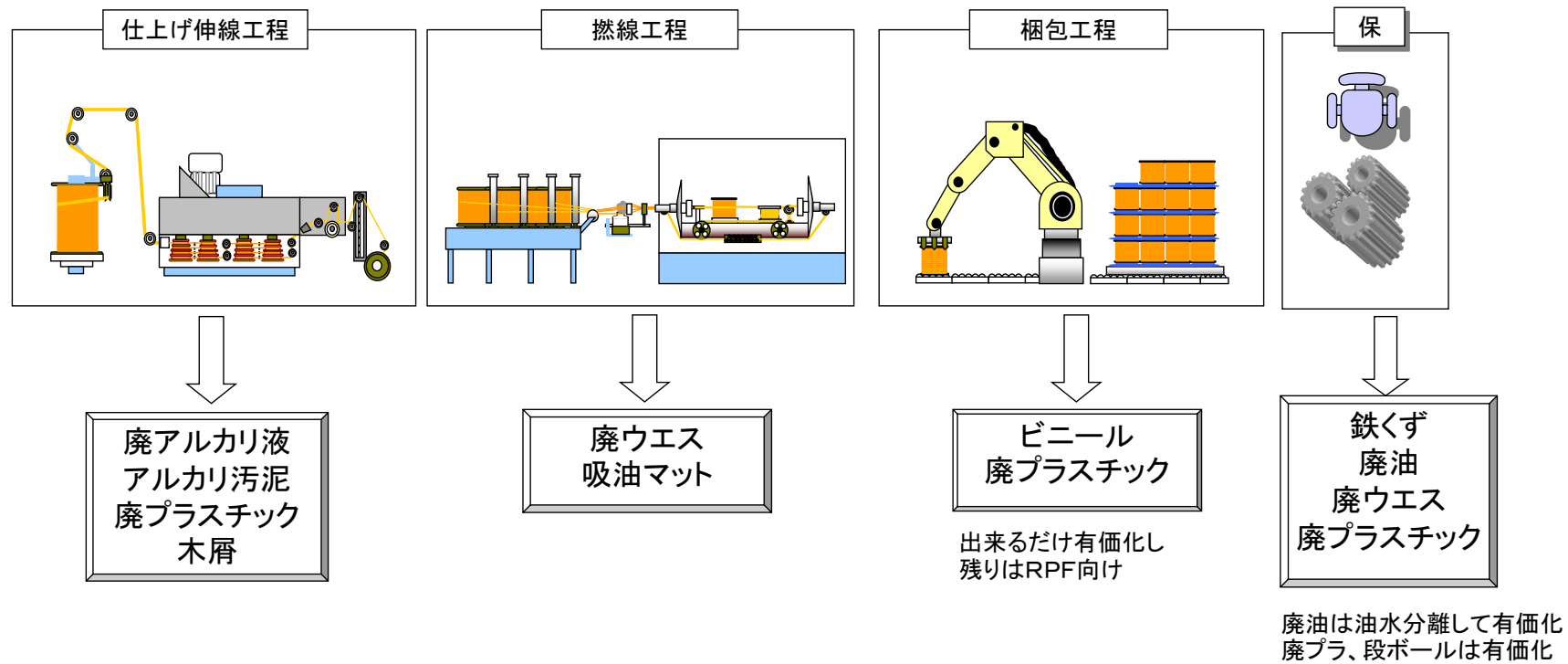
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

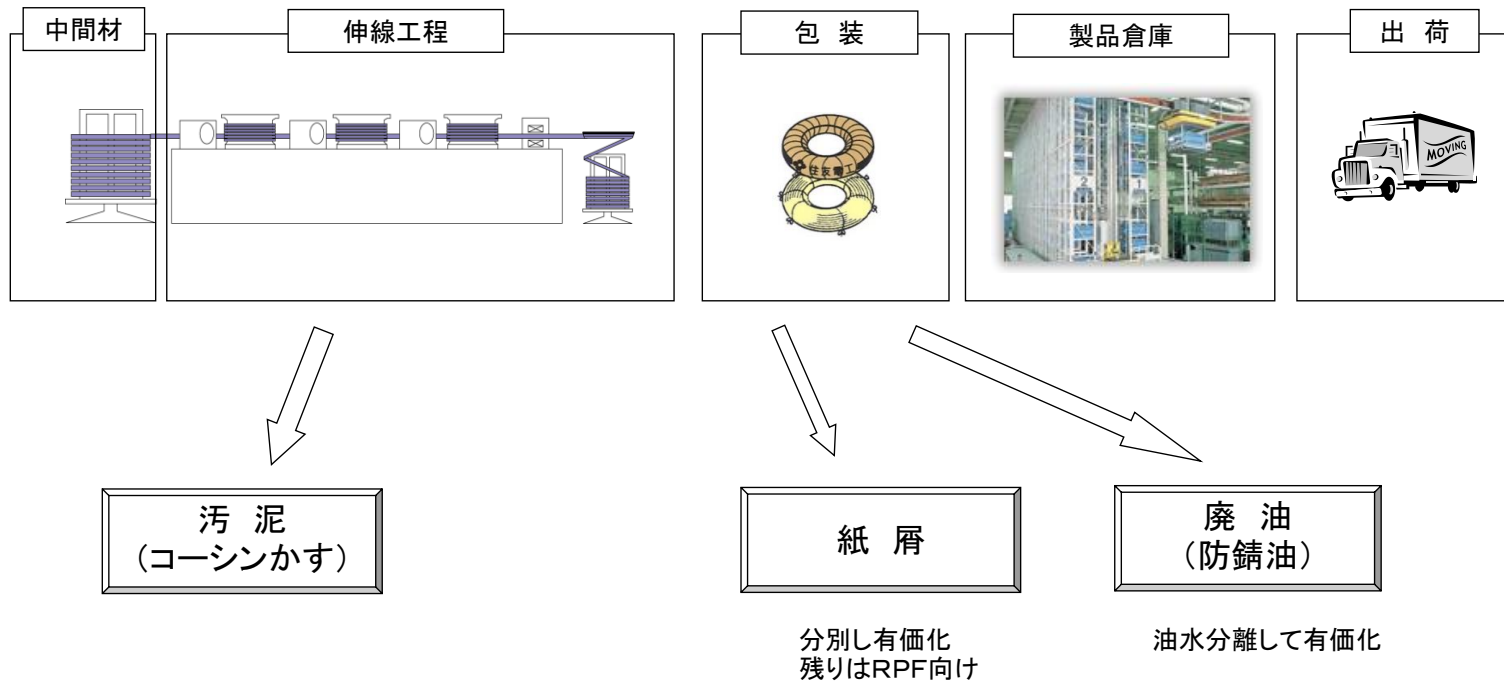
第1スチールコード工場 生産工程と産廃物



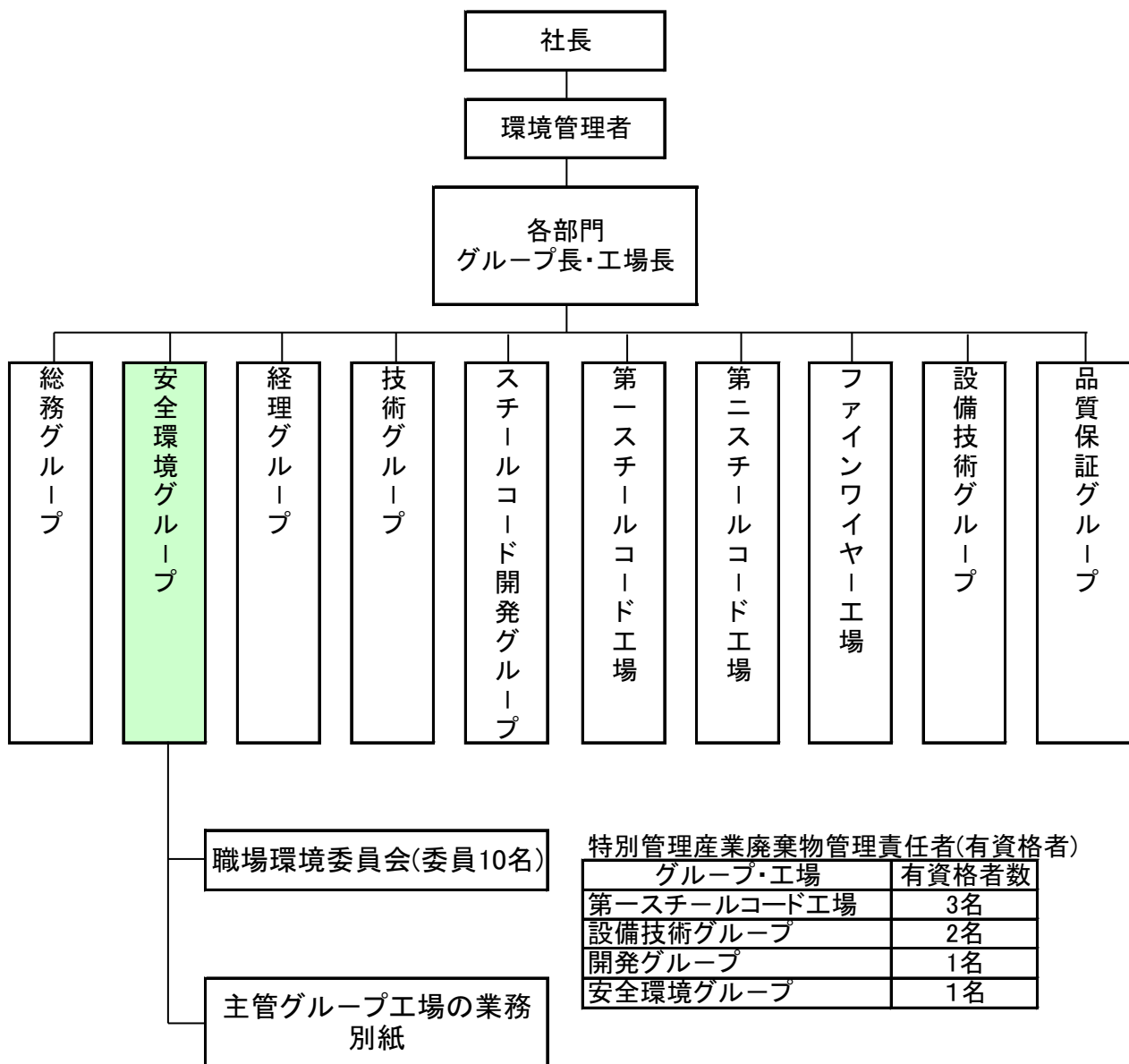
第2スチールコード工場 生産工程と産廃物



ファインワイヤ工場 生産工程と産廃物



産業廃棄物処理社内組織図



主管グループ・工場の業務

部署		業務内容
発生元	環境主管者	<ol style="list-style-type: none"> 1.グループ工場で発生する新規の廃棄物の処理依頼と承認 2.廃棄物の減量化
	産廃担当	<ol style="list-style-type: none"> 1.廃棄物処理計画の策定及びその実施 2.グループ・工場で発生する新規廃棄物の分析と処理依頼 3.外部委託業者との契約書の作成 4.契約書変更事態(新規廃棄物の処理、契約単価改訂等)に対する事態起案の発動 5.保管施設での保管量の把握、記録の作成等 6.廃棄物(種類、数量等を含む)の把握、記録の作成と報告 7.廃棄物の外部委託処理の手配(マニフェスト)の運用管理 8.産業廃棄物管理票(マニフェスト)の運用管理 9.外部委託処理の請求書、見積書等の受領及び処理費支払い手続き 10.廃棄物処理の数量と処理費の集計、記録の作成と報告
安全環境グループ	グループ長 工場長	<ol style="list-style-type: none"> 1.廃棄物に関する全般的な調査、企画及び社内外の情報収集 2.法令、行政指導との関連から見た処理方針の検討及び決定 3.廃棄物の減量化、再利用等の推進と指導 4.行政への届出書類の承認 5.グループ・工場で発生する新規の廃棄物の処理方法の承認 6.特定有害産業廃棄物の判定と外部委託業者の承認 7.廃棄物の適正管理の指導 8.当社全体の廃棄物(種類、数量等を含む)情報の把握 9.当社全体の届出施設の稼働状況の把握 10.外部委託業者への出向監査と指導の統括
	担当者	<ol style="list-style-type: none"> 1.行政への届出書類の作成と届出 2.各部署で発生する新規廃棄物の処理方法の検討 3.特定有害産業廃棄物の判定と処理先の選定 4.日常業務の行政関係先の窓口 5.行政に対する報告資料の取り纏め及び作成 6.当社全体の廃棄物(種類、数量等含む)情報の集計、記録の作成と報告 7.当社全体の届出施設の稼働状況の集計 8.外部委託業者への出向監査と指導 9.全社共通廃棄物の外部委託処理の手配(マニフェスト発行含む) 10.全社共通産業廃棄物管理票(マニフェスト)の運用管理 11.全社共通産業廃棄物外部委託処理の請求書、見積書等の受領及び処理費支払い手続き 12.全社共通産廃物に関する外部委託業者との契約書の作成 13.関連契約書変更事態(新規廃棄物の処理、契約単価改訂等)に対する事態起案の発動

産業廃棄物 前年度目標値、実績値及び今年度目標値

産業			排出量	自己再生 利用量	自己熱回 収量	自己中間 処理減量 化量	自己埋立 処分量	全処理委 託量	優良認定 処理業者 への処理委 託量	再生利用 業者への 処理委託 量	認定熱回 収業者へ の処理委 託量	認定熱回収業 者以外 の熱回収を行 う業者 への処理委託 量
汚泥	R4年度	目標(t)	736.71					736.71	736.71	736.71		110.51
	R4年度	実績(t)	671.27					671.27	460.28	668.09		85.28
	R5年度	目標(t)	664.56					664.56	664.56	664.56		84.43
廃酸	R4年度	目標(t)	26.02					26.02	26.02	26.02		
	R4年度	実績(t)	29.70					29.70	29.70	29.70		
	R5年度	目標(t)	29.40					29.40	29.40	29.40		
廃アルカリ	R4年度	目標(t)	375.67					375.67	375.67	375.67		
	R4年度	実績(t)	268.28					268.28	268.28	268.28		
	R5年度	目標(t)	265.60					265.60	265.60	265.60		
廃油(ペンキ・ 含油水)	R4年度	目標(t)	0.0					0.0	0.0	0.0		0.0
	R4年度	実績(t)	0.67					0.67	0.67	0.67		0.67
	R5年度	目標(t)	0.0					0.0	0.0	0.0		0.0
ガラス、陶器類 (断熱材)	R4年度	目標(t)	0.50					0.50	0.50	0.50		
	R4年度	実績(t)	0.83					0.83	0.41	0.83		
	R5年度	目標(t)	0.50					0.50	0.50	0.50		
廃プラ	R4年度	目標(t)	29.18					29.18	14.59	17.51		29.18
	R4年度	実績(t)	30.94					30.94	22.40	21.13		30.94
	R5年度	目標(t)	30.63					30.63	30.63	30.63		30.63
木屑	R4年度	目標(t)	10.00					10.00	10.00	10.00		
	R4年度	実績(t)	7.39					7.39	7.39	7.39		
	R5年度	目標(t)	10.00					10.00	10.00	10.00		
その他(鋳さ い・ガレキ)	R4年度	目標(t)	6.00					6.00	6.00	6.00		
	R4年度	実績(t)	0.00					0.00	0.00	0.00		
	R5年度	目標(t)	6.00					6.00	6.00	6.00		
水銀使用製品産業廃 棄物(蛍光灯)	R4年度	目標(t)	0.05					0.05	0.05	0.05		
	R4年度	実績(t)	0.03					0.03	0.03	0.03		
	R5年度	目標(t)	0.04					0.04	0.04	0.04		

別紙5-①

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

産業廃棄物	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
脱水汚泥	含水率改善による減容	減容の継続、脱水装置の維持管理強化
乾燥汚泥	生産工程内改善による再使用	生産工程内改善による再使用の継続と拡大
廃アルカリ	寿命延長の為の設備改善(液中浮遊物の除去)	濃縮後の水再使用
廃油	油水分離	分離設備導入により作業の簡素化
汚泥	含水率の改善	銅含有汚泥の有価化
ゴム類	材質改善により寿命延長	材質改善により寿命延長
ウエス	廃却基準見直しによる削減	廃却基準見直しによる削減継続
ガラス	分別精度向上活動	現状維持
廃プラ	分別精度向上活動(有価品の拡大)	分別精度向上活動(有価品の拡大)
木屑	木パレットのレス化と代替品(プラパレ)への移行	木パレットのレス化継続と有効利用の拡大
その他	特になし	特になし

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
脱水汚泥	排水処理装置の能力維持	排水処理装置の能力維持
乾燥汚泥	無し	無し
廃アルカリ	無し	無し
廃油	油水分離(有価売却)	油水分離継続(有価売却)
汚泥	無し	無し
ゴム類	無し	無し
ウエス	分別精度改善による再使用の拡大	分別精度改善による再使用の拡大継続
ガラス	無し	無し
廃プラ	分別精度向上活動	分別精度向上活動継続
木屑	無し	無し
その他	無し	無し

＜自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
脱水汚泥	排水処理装置の能力維持	排水処理装置の能力維持
乾燥汚泥	使用済み潤滑剤(乾燥汚泥)の再生と再使用	再生装置導入と再使用機械台数の拡大
廃アルカリ	濃縮後の水再使用	水再使用の継続
廃油	無し	無し
汚泥	無し	無し
ゴム類	無し	無し
ウエス	無し	無し
ガラス	無し	無し
廃プラ	無し	無し
木屑	無し	無し
その他	無し	無し

＜自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
脱水汚泥	含水改善と自然乾燥	含水改善(脱水装置更新)と自然乾燥
乾燥汚泥	無し	無し
廃アルカリ	濃縮による減容	濃縮による減容の継続
廃油	油水分離(有価売却)	油水分離(有価売却)
汚泥	無し	無し
ゴム類	無し	無し
ウエス	無し	無し
ガラス	無し	無し
廃プラ	無し	無し
木屑	無し	無し
その他	無し	無し

別紙5-①つづき

〈自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
脱水汚泥	無し	無し
乾燥汚泥	無し	無し
廃アルカリ	無し	無し
廃油	無し	無し
汚泥	無し	無し
ゴム類	無し	無し
ウエス	無し	無し
ガラス	無し	無し
廃プラ	無し	無し
木屑	無し	無し
その他	無し	無し

〈産業廃棄物の処理の委託に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
脱水汚泥	ゼロエミを考慮した処分業者への委託	優良認定及び、熱回収処理業者への委託
乾燥汚泥	同上	同上
廃アルカリ	同上	同上
廃油	同上	同上
汚泥	同上	同上
ゴム類	同上	同上
ウエス	同上	同上
ガラス	同上	同上
廃プラ	同上	同上
木屑	同上	同上
その他	同上	同上